

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成26年 7月14日 午後 1時30分 開会 午後 3時10分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	奥津勝子 高橋英俊 二宮加寿子 渡辺順子 坂田よう子 片野哲生 吉川重雄 高橋富美子 竹内恵美子 三澤龍夫 関 威國 鈴木京子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 二挺木政策総務部長 森田政策課長 宮代政策課主事 大槻総務課長 常松副課長兼公共施設係長 加藤財政課長 和田消防長 三木消防署長 市川隊長兼副主幹 佐川生涯学習課長
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の意見・要望等と町への申し送りについて (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の6件について、お知らせを受けた。

①寄附の受納について

5月20日に地域のまちづくりのためにと、30万円の寄附を受けた。また、7月2日に大磯御船祭の船の保存、維持管理などのためと、500万円の寄附を受けた。9月補正予算に計上する。

②ハラスメント防止研修について

7月2日(水)・4日(金)・7日(月)に全職員を対象としたハラスメント防止研修を開催した。

③津波避難訓練について

7月5日(土)に津波避難訓練を実施した。併せて、県と合同で津波対策訓練も実施した。両訓練の参加人数は2,160人であった。

④国・県への要望活動について

7月18日から8月27日にかけて、民主党、自民党、公明党、3市3町広域行政推進協議会、神奈川県町村会へ要望活動に伺う。

⑤大磯町子ども議会について

平成22年度にはじまり第5回目となる大磯町子ども議会を8月23日(土)に開催する。町内在住、在学の小学校5年生・6年生が議員となる。

⑥青少年の被災地体験学習(防災ミッション)について

8月18日から8月20日までの3日間、中学生21名が宮城県南三陸町を訪問し、被災地でのボランティア体験学習を行う。

◎主な質疑

問： 500万円の寄附金は、保存会の意見を聞いた中で活用していくのか。

答： 御船の修繕にと寄附を受けた。御船の修繕等に使いたい。

問： ハラスメント防止研修の内容はどのようなものか。研修の総括を考えているか。総括を行い、風通しの良い職場環境づくりに寄与させなければ研修の意味がないと思う。

答： パワハラとセクハラについて研修を行った。日ごろの職場関係があって、パワハラやセクハラの防止ができるといった総括もされている。自由に意見が言える職場環境作りに努めていきたい。また、今後、相談窓口を設置したい。

問： 防災ミッションの行程、子どもたちの負担額を教えてください。

答： 8月18日午前7時に役場を出発する。到着次第、被災地見学・ボランティア等を行い、8月20日午前7時に役場に到着する予定。費用は宿泊費、昼食代として1万円以内で負担額を設定する。

## (2) 町報告事項

### ①消防指令業務の共同化に伴う工事請負契約の締結について

平成 26 年 7 月 2 日、消防指令業務の共同化に伴う工事請負契約が、平塚市議会において可決されたことについて説明があった。

### ◎主な質疑

問： 共同化により消防指令業務が集約されるメリットは。職員体制において、今よりも隊が組み易くなり職員の負担軽減が図られるのか。

答： 平塚市の体制が 3 部制の為最低 3 名派遣しなければならないが、運用面が改善されるため、職員の負担軽減は十分図れると考えている。

問： 共同整備による費用面でのメリットは。今までよりも費用を抑えることができるのか。

答： 大磯町が単独で整備するよりも費用を安く抑えることができる。今後行う指令施設についても同様である。

### ②大磯駅前用地の利活用方策に関する答申について

7 月 11 日（金）に第 7 回大磯駅前用地利活用検討委員会を開催し、土地利用の活用方法について協議を行っていただき、意見がまとまったことから答申された。

土地利用の全体コンセプトとして、『大磯駅前用地は、町の玄関口の顔となる重要な場所であることを重視し、“憩いや交流の場となるための利活用”、“景観や自然などの特性や魅力の尊重”、“歩行者や自転車利用者への安全安心な対応”の 3 点を踏まえた土地利用を図ること』が示され、ゾーニング毎の土地利用の方向性が留意事項とともに答申された。

### ◎主な質疑

なし。

## (3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

## (4) 報告事項

### ①委員長等からの報告

○7/14 議会運営委員会の概要・・・吉川委員長

(6 月定例会反省・9 月定例会日程・12 月定例会会期)

○総務建設常任委員会の概要・・・渡辺委員長

6/20 (協議会) (小湊綾海岸松林地区風致地区等の指定・自然エネルギー導入推進に向けた制度の整備)

6/23 (一般会議) (大磯町環境審議会) (自然エネルギー導入推進に向けた制度の整備)

○福祉文教常任委員会の概要・・・高橋(富)委員長

7/ 7 (協議会勉強会) (大磯町郷土資料館リニューアル)

(子ども・子育て支援新制度)

- 議会だより編集委員会の概要・・・坂田委員長  
6/30（前号反省・174号校正）  
7/9（174号校正・広報全国コンクールへの応募）
- ②監査委員からの報告・・・竹内監査委員
- ③農業委員からの報告・・・坂田委員
- ④6/24, 25 関東各都県町村議会議長会会長会議・・・奥津議長
- ⑤6/25 第72回大磯町都市計画審議会・・・渡辺総建委員長
- ⑥7/1 新湘南国道並びに藤沢大磯線（湘南新道）新設改良促進協議会、相模川整備促進協議会委員会・・・奥津議長
- ⑦7/4 神奈川県町村議会議長会正副会長会議・7月役員会・定期総会  
・・・奥津議長
- ⑧7/8 神奈川県町村議会議長会なぎさブロック会議・・・奥津議長
- ⑨7/10 神奈川県防災協会理事会・通常総会・・・奥津議長
- ⑩7/10, 11 全国町村議会議長会第80回町村議会広報研修会  
・・・関議員、片野議員  
（わかりやすい表現・表記、議会広報誌の編集、写真の見方・考え方）（議会広報クリニック）
- ⑪行政視察について・・・高橋副議長  
7月2日に愛知県大口町議会議会基本条例策定特別委員会が議会基本条例策定に係る取り組みについて視察来庁した。
- ⑫その他  
なし

#### （5）協議事項

- ①議会報告会の反省総括について  
当日町民の方からいただいた質問について、回答が完結したもの、議会で調査研究していくもの、町へ申し送るものを振り分けた。  
今後の議会報告会の在り方について、次のような意見があった。
- ◎主な意見
  - 議会報告会を見据え議会だよりを作成したほうがよい。
  - パワーポイントを用いるなど報告の仕方を考えるべきではないか。
  - 前回報告の結果については資料配布のみとし、その時間を意見交換に充てたほうがよいのではないか。
  - ざっくばらんに話し合いができるような交流の場を設けてみてはどうか。
  - 全議員が報告で座っているが、全議員ではなく担当班のみ前に座ってみてはどうか。
  - 保健センターは、入って正面に座るのではなく、席の配置を横向きにするなど、会場の配置方法を考えたほうがよい。
  - 意見等に対する回答はできるだけ早くすべきではないか。

○記録はすべて記載すべきである。

②その他

三澤議員より「集団的自衛権に関する憲法解釈の変更に反対する意見書」を提出する旨の申出に対する説明があった。

なお、意見書については、今回から事務手続きの明確化を図るため、議会運営委員会を開催し、提出予定意見書案について取り扱いの協議をすることとした。

(6) 事務局からの報告

①視察来庁について

7月18日(水)に宮城県涌谷町議会が行政評価について視察するために来庁する。

②その他

なし